



日本語学校で福島県を紹介

## 1 赴任して6ヶ月

あっという間に約6ヶ月が過ぎました。食べ物にもすっかり慣れ、お腹を壊さなくなった一方で、今月は職場に置いておいた道具が紛失するなど、良くも悪くも生活に慣れてきたようです。

### ■生活

生活のペースが出来上がり、余裕が出てきましたが、たまに予期せぬことが起こります。先日は部屋の切れかかった蛍光灯が天井から落ちてきました。ベットの上だったので割れませんでしたでしたが驚きました。

### ■語学

現地語のテトゥン語は書くのはいいが、発音が問題だと同僚に言われます。日常会話の聞き取りはなんとかでき、自分はゆっくり話します。人が多いと会話スピードが上がるので、ついていけない場合が多いです。

## 2 配属先の活動 ひたすら「竹細工」

今月は同僚と作業場で見本となるサンプル品作りをしています。竹細工で使う竹も予算で買ってもらえるようになりました。

残念なのが、最初に興味を持って一緒に作業をしてくれた同僚も日が経つにつれて少なくなってきたことです。周りに声かけして始めるようにしていますが、もう少し周りを巻き込む工夫が必要だと感じます。

今回は、初めて竹を取りに行った時の様子を紹介します。



作成した買い物かご

### ①竹の購入「日本より安い?!」

場所によって竹が無料というのは日本と同じですが、ここ首都ディリの場合はお金が必要です。竹の購入は初めてなので、まずは場所探しです。始めは同僚の家の近所で”1本5米ドル”ということで話が進んでいましたが、私が以前買ったところは”1本3米ドル”だったのでこちらになりました。この場所も町の中を歩いて竹を探して、住んでる人に直接値段交渉します。値段は外国人の私が交渉するより、現地のティモール人が交渉した方が安くなります。結局、1本2.5米ドルで購入して伐採して運びました。

## ②痒みの原因「竹の皮?!」

伐採した竹の皮に細かい毛のようなものが付いており身体に付くととても痒くなります。上司の車で持ち帰りましたが、一緒に行った5人全員が手や首回りなど露出している部分に痒みの原因である毛がつき、痒くなり、大騒ぎで帰りました。

翌日、その車に乗ってきた上司が身体が痒いと言って出勤してきました。次の竹の伐採の時に車が借りれるか心配になりました。

## ③竹割り

同僚と協力して竹を約2mの大きさに切り、節の汚れを取り、水洗いをしました。ノコギリを使って竹を切る作業は、力の必要な作業なので、力自慢の東ティモール人が大好きな作業です。逆に気になったのが、道具の使い方が雑なことです。洗った竹を土足で踏んだり、ナタを土台に打ち付けたりします。置いた場所にも問題があったかもしれませんが、道具を大切にすることも伝えたいと思いました。

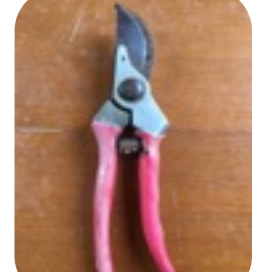
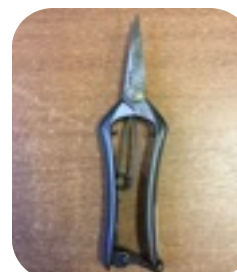


竹割り、剥ぎの様子

## 3 今月の失敗「モノがなくなる」

防げる失敗をしてしまいました。竹細工で使う幅寄せ小刀と剪定ばさみを職場で紛失してしまいました。始めの頃は毎日家に持ち帰っていたのですが、慣れるに従い、同僚もここなら鍵もかかるから大丈夫と案内してくれところに置いて帰ったのが迂闊でした。

同僚も一緒に探してくれましたが、私の気の緩みのせいで嫌な思いをしたように感じます。この竹細工の道具は日本でもなかなか揃わず、やっとの思いで揃えたものになります。しかし、相談したティモール人がそれに代わるものを提供してくれました。とてもありがたかったです。



左側が紛失したもの、  
右側が新たに提供してもらったもの



登壇者は政府とNGOの代表者等

## 4 国際女性デー

3月8日は国際女性デーです。伝統工芸品であるタイスを織るのは女性の役割です。その女性が作ったタイスが文化の継承されており、女性の社会進出、またその環境を整えるというテーマでパネルディスカッションもありました。今回は手伝いでしたが、主催者側に立つことで改めて女性の活躍の素晴らしさを気づかせてくれた良い1日でした。《第6号終わり》